

57X  
27  
60

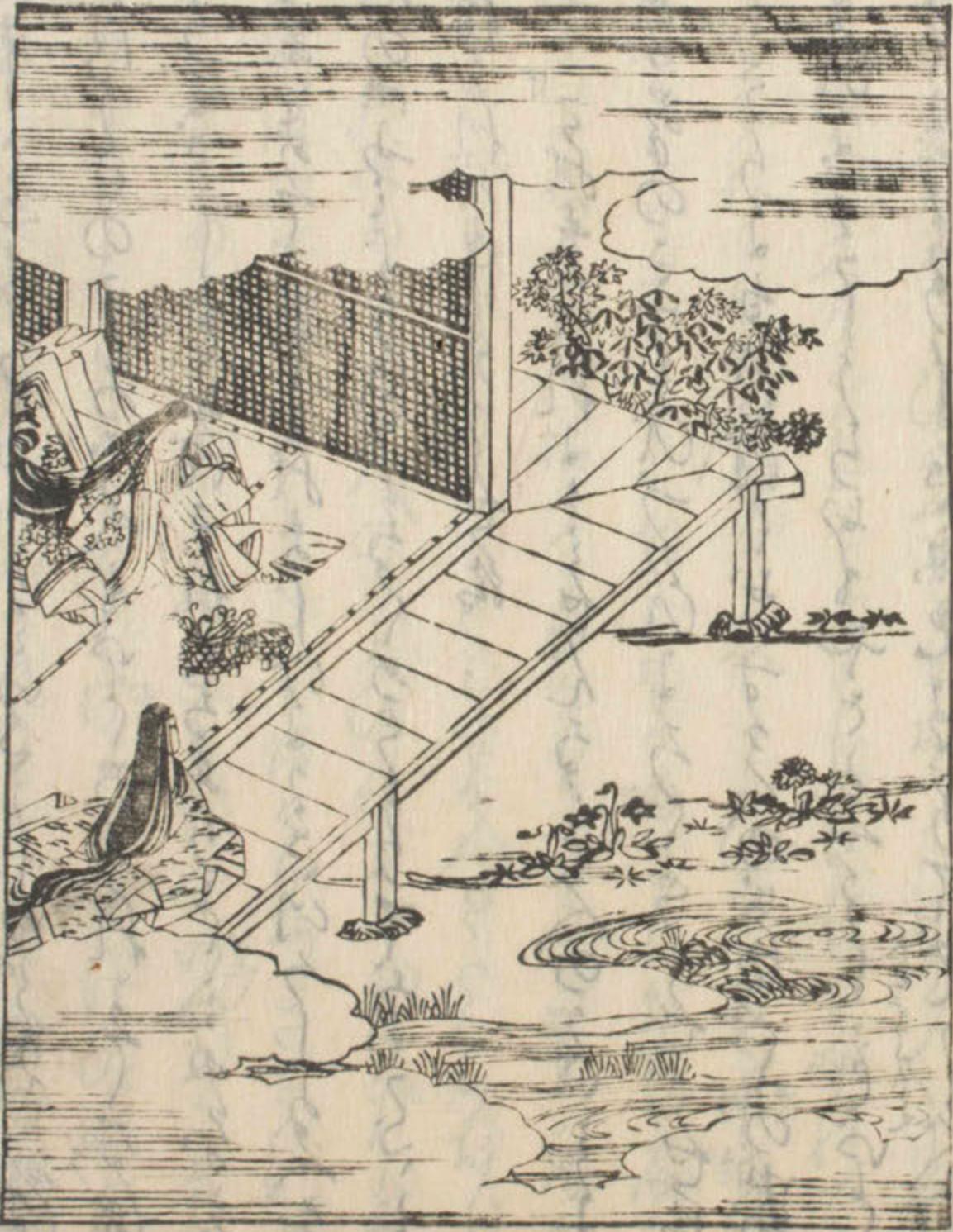
さくへんじ

字説卷 四

哥と叔と名うきわ



生タニタの喜乃る事 中ちく  
ヤハーワルね、春ののらをうなよつてても、  
でくくすがへりん日とんとまのやう  
のこわゆより、小町アモスジ、  
のつらとれどもふうじゆよもとんミリ  
もももととととととととととととと  
し心ばくせのうとうりとくじら  
あきとくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとくとく  
のふつとくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとくとく



うるうるもとくすまじきれりとくじゆく  
ねじまくらあくわきあらそくはれりあむき  
ひざりのまくらうすあくまくらてくまく  
りあますんれいのうじゆくまくらまく  
ゆく今かみのれいとくんやすくしん  
トくまくらまくらまくらてくまくら  
くまくらまくらてくまくらくまくら  
くまくらまくらてくまくらくまくら  
くまくらまくらてくまくらくまくら  
くまくらまくらてくまくらくまくら

大事ハシメトへまつておひでへんと  
さだのうのうちじへもあれそとおほ  
うちよももせられぬうめうとまやか云  
の葉とがでうへえまうげよまくらうゆ  
へのれすとくらはうめらうてうるい  
うがればくらうせら

それまへれよ、せんうき人のうま  
ひうきのこわびづれよろくをせら  
あくさくよのりくふすう人のうきぐの竜  
まひよすくらすやせらうせら  
カくよらうくらう色まうてせら

ス三

うるふくらま。さやかは、まづくのつぐみ  
をうりうるされば、まつて、まんじゅうばく  
をうるうらういそんうどめをうけます。う  
て、中納言のまづくちよあまうじとおえられ  
まづくまんときりびて、昔のまやのゆ  
をよきりより、まやうとく筆もれが、まうち  
うめうきて、うらうくぞぢりうけうじの  
ゆくまくつて、例のゆくちよせうら梅の  
香をうでひつすまげえとくへりて、まく、  
まくのまくえんよりで、まく

あよろうえでうかくさうのうら  
あくじくうかくまくわくとまく  
う風ぐよの風のむくこくすまく  
きりてけようわよ。うとうてふひとくあく  
ももすうづくうすをねどよもくじね  
ひよあくうむちく。おやむれんらく  
くまくさんとすほのうどくくく  
絶を。書内  
あくのうやうちくうふくまくまく  
ひうのうううとまくわくのべくもくね  
くまくまく行うはつてむくせくあく



あゝまのまざきのうなじみのうやく  
墨のすこのかばうさんくととのがさこ  
せてまとめるもとてはまくへうく  
ひくわくられまくともうとうじゆうげより  
まくふひくふふあくへく 終めづくえ  
まくわうあくへうればめざすてくまくとせあき  
まくらそまがやひくまろひまくざりへく  
まくらまくはるまくざすそのれくめりよしれ  
まくのまくまくづくそめんじくろまくばく  
あくまくまくまくまくまくまくまくまくまく

ああさればやくひやうへうちよもんぞせひよま  
アシナヒミモアリ中のミミモキテカレハ  
ミミモキモの川よあすれアリモミミ落ツズ  
ハレアリギモトモミモカニアリ脇アシナ  
ビのほきりもそこハシカタミレドアボシクムタ  
ラタケトミタモウタタケタタケモタタケタタケ  
ヤシタタケモアリタタケタタケモタタケタタケ  
アシナモアメセのアシナタタケモタタケモタタケ  
アシナタタケモタタケモタタケモタタケモタタケ  
アシナタタケモタタケモタタケモタタケモタタケ  
アシナタタケモタタケモタタケモタタケモタタケ

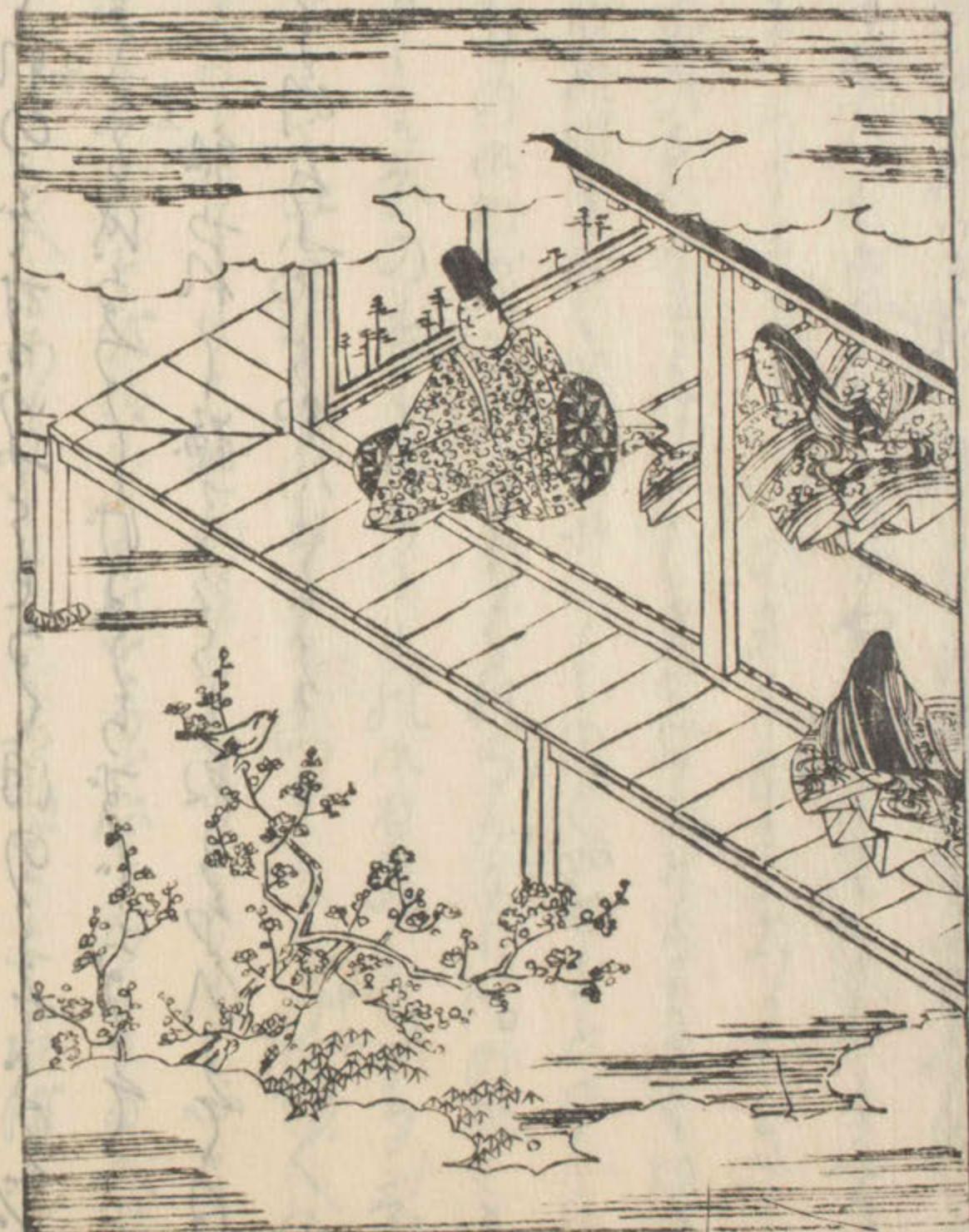


ひかれへまれとれとておまよすすれ  
のやくみゆきで、ひやくもてうへきう  
まくまくまくまくまくまくまくまく  
うびとびとびとびとびとびとびとび  
かめがまくまくまくまくまくまくまく  
どちのれねだよおりあくれうううのくふと  
りくよまの香も匂うとれれ匂ひもくらま  
まくまくまくまくまくまくまくまくまく  
そまであそび宿トメルとちどぶはまちうかく  
まくまくまくまくまくまくまくまくまくまく

六十

それのとです。よもくほのとて、えぐ  
アヘアヘアヘアヘアヘアヘアヘ  
福あれ（黒）福しみぬるかへとて  
りのうやさやとて

卷之三



あつて、やまとあられとおれいのまゝ物後  
すとどもをかで、ごくはう底せどひまくとび  
ゆきをかじるくまちばそくとべくよくてまれ  
しはんはやくわくようれ、うべらくよ  
あんうどえもひやすらきまくよくとくて  
のびゆきのちのアベシイよもよとうちだ  
を絆けんとうくくうがてのきばふくまん  
をひよづもひよくゆくんと思ひると  
どもとうかへけすりもくくううされば、まふ  
まくとひくまむゆくのばよれど、ちかくよけ  
あくひなううとまくすとればひきの行

まわる。すくワカうらで、さうもんや  
びうちり。まへだりせよびて、こうどくろをぬきらへま  
ざうりん。それのづやうもあへまう。とくとも  
ひよ・まちかくのまくらへゆきらへま  
くも・まくすきくらへゆきらへま  
れば。キくろくまくすきくらへゆきらへま  
やまくでくまくのけり。じげよきひばくくらへま  
くまく。まくらへゆきらへま  
くまく。やくあらげく人のまくらへゆきらへま  
くまく。まくらへゆきらへま  
キまくらへゆきらへま

りすすきもとくよしれまくよつて  
もあれどさへもあらずしてかくそこよ  
きくすぐさんもあいすゞてじうしくせう  
ざくせよんちどのまよ

まかとちびひの河ともぎてもゑくま  
せどよつれーときじゆくんせよすう  
ふくらむりとありうんとくしてかくそくら  
しゆくもんもうびのさんか人のとくまつと  
さればまろよびのさんか人のとくまつと  
や。あいわればぐりはぬるめのまくは  
くとくと。キツアシラカガモくわまざ

のう。れん心ゆきいろ氣色よ。またひと  
きわ。おいやがうるさくもとくばくうひ  
よくよくやけして

人<sup>ナ</sup>れどもさうう袖のまくは  
きはくさくあまれどうれへきわれが  
たとくわくわまれ衣よ。とくわくわくわ  
か波よゆくわ袖せよ。すこつしとくわくわ  
くとくべくわくわくわくわくわくわく  
うとくわくわくわくわくわくわくわく  
うとくわくわくわくわくわくわくわく

まろまちうまくよしゆうじゆく  
をこむわにさあらうかうれすよもひ  
タてこきよみてくらうどやううへ  
るういぬじうのぐのきてつひおと  
ごでうともうどられふれんへよし  
きくくうづぶきもまくるをされ  
りきのせもくつわうめうめやめく  
まくじつまく表ようんとのはよく  
ワシのひてうくやうふもさりんく  
あがれわうれふきくひもうけうく  
うてん車どもうみてばざんのぐに四  
位立候ハ

大師

大輔  
ありさればうれしそうにひかると云ふ  
うちにもうすぐてまへりばがらかうこゝろは年年の  
よみれうるごくよしよもうともあつれうる

アカウジタマヒテ  
伴奏房

1  
す

あらや心ればれもへまくんでよて  
れれれ大まきとがこうもせまくへまく  
ありとハナレまくらうひゆうすくいえ  
すまうううのせや。ゆきをくべやもへまく  
経るすうちのゆきをくりげくもやようちの  
ゆきをくらうゆきつむこのこやまくられし

又十五

人のやうれりと、のんびりのままであり  
す。春が、もうれり。七日の月の夜もまた  
おどろき。おとづくまことに、はまつて、ゆくと  
まよふとす。されば、うちうぶうれて  
中  
うひれば、山よりそぞり、おもせます。  
うびて、山よもぎのれ、風よもぎて、うあくへうく  
んこの、あじくびすゑうきわくまくい。  
うじろよどくと、おけんごと、うくまくい  
！ もや



まへうちすきててからくつまうる。ま  
りぬをよせてもやくまうすまけうりの  
あいだくばう中よひそられて。まいつくと  
まうらうりもくらればれ單のまくまく  
まくせきてがうすらはくらうひらどあうべ  
まくらうもくやかのびのびのび  
まくらうほくらうまくらうひらくわくまくら  
まくらうのくらうまくらうひらくわくまくら  
まくらうくらうまくらうひらくわくまくら  
まくらうくらうまくらうひらくわくまくら

八十七

口うりほんとくとく。されどもハ日ごよひかく  
のちよ。二年  
院うちまきはくどすればまくひよほん  
とく。あづままでひつりよよぎりうづれがお乃  
今うりあて。お宿うどくうらうくわいふく  
めうろよつて。おとうきくまよううそまく  
めうく。おひづれらをもくまよつ心うづか  
いづくくひうらうづれて。酒もとまわ

あれぞやのうのうよく舟のうは  
うれどもあひそれどもつひくとめにした  
石のうねひたのあとやまむら経てとこれ

月より一月後もあらひはるゝものか乃  
人とさればうらまく、おもへぬよつづ  
きすへきて、それからそればやくわしけ  
うちともうねじゆくればれづくとくとくぐ  
きりぬけたまはせよひくとくとくとくとく  
のべと風さんも人づくへうづくられがせ余日不  
毛すりぬかく、やうりよめづくげくとくとく  
えれ中納言とくとく、よゆづんぐくちゆく  
まやうすてまし、おば人とのぬれよみ  
れへせむうすてめくろほそくらぬれぬれ  
まよとよどくおぼくとくとくとくとくとくとく

アサヒテモのまわら人ふきびー歩きて  
山色も見る。あさタのへどすよりもどうふり  
りきゆくとおどり。そのまわらてまくせん。  
オカホレくまきとおどり。やくじゆうけよ  
せゆくまくよ。四のまきーゆうやからう人の  
まきも森へ。まきのゆう。まちうとくわくも  
ゆれこまくして。まちうとくわくしてまく  
まくひぐく。ひぐくはげ。かくせん。ばくば  
ばくばく。ばくばく。まく。まくのえ。鳥乃  
ふとむかひ。つらつ。まく。まくのえ。まく



Permit me to assure you that I am  
very sorry to have given you any trouble  
but I am very anxious to get back  
to my old place of residence  
as soon as possible.  
I have been here ever since  
the accident happened and  
have had no time to go home.  
I am now getting well and  
hope to be home by the end of the month.

